



ともに

※個人情報保護のため目的外使用を禁止します

平成30年10月22日

第24号

文責：緒方悠実子

～松永の伝統を受け継ぐために～

今日は1, 2時間目に下駄をつくる体験をさせていただきました。下駄は何足か持っていたけど、実際に作ったことはありませんでした。2足持っているうち、1つは松永下駄工房のものだったので、調べたときにびっくりしました。一生の宝にします。

今日3, 4時間目に下駄作りをしました。松永下駄工房というところから3名来てくださいました。私は、きれいにできるかな？と思っていたけど、教えてくださった人たちに手伝ってもらって完成させることができました。完成度100%だと思います！

私はどう作るか分からなくて、どうなるのだろうと思っていたけど、いざ作ってみると、簡単のところと難しいところがいろいろとありました。でも自分が「いいな」と思う下駄ができたので、よかったです。また、自分に合ったものを作ることができて良かったです。

今日の下駄作りで、ぼくはあえてシンプルなデザインを選びました。わけは、初めて作るし、白と青が好きだからです。初めて作るので手順やつけ方などはまったく分からなかったもので、緊張しました。

今日下駄作りをしました。私は黒とオレンジの組み合わせにしました。みんなそれぞれ個性が出ていたように感じました。私は手伝ってもらわずに、ほとんど自分で作りました。でも意外と上手にできたので良かったです。

作業は2グループに分かれて行いました。意外と難しかったという感想が多かったですが、みんな説明を真剣に聞き、友達や下駄工房の方に手伝ってもらいながら、自分の下駄をうまく作ろうと必死でした。みんなそれぞれ好きなデザインを選びました。中には、浴衣を着るときのことを考え、色が合うように選んでいる人もいました。下駄工房の方々も、「みんなデザイン豊かに作っていて、テキパキと作っていた。」とおっしゃっていました。下駄作りの体験をすることで、下駄作りの楽しさや難しさも学び、松永の下駄をこれからも大切に思う気持ちを持つことが

できたと思います。1学期に、松永の下駄のことを知ってもらうためにどうするか話し合ったときに、学校のホームページ上で動画を配信するという意見があがりました。より多くの人に松永の下駄を知ってもらうために、これからも自分たちにできることは何か考えていってほしいと思います。



精華中学校のホームページを見てみてください。作成の様子を載せています。

11月1日(木)に参観日があります。1年生は体育の授業です。平日でお忙しいかと思いますが、日ごろの授業の様子をご参観ください。よろしくお願いいたします。